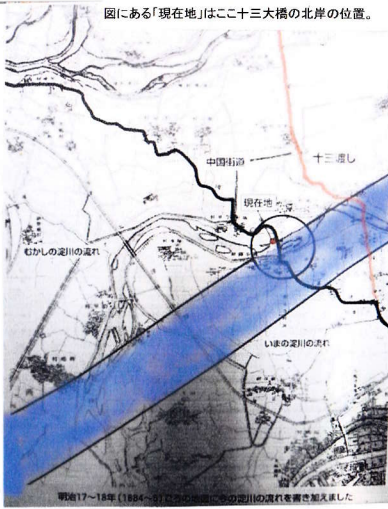


# 能勢街道地図



北区中津一丁目  
萩之橋跡  
右)北方向の様子。「元政之橋」の碑がある。中国街道はここを西へ進む。  
明治の淀川改修以前は北へ直進したところで橋を渡れた。



西へ向かいJR線をくぐる。  
十三大橋の高架下から階段で上られる。



十三大橋  
昭和7年完成。全長681m

朝の  
新淀川大橋と  
波子もOK!!

明治の淀川改修以前の比較。(現在の淀川に着色してみたもの。)  
淀川は十三大橋の北で鋭角に曲がり、いくつかの洲を持ちながら蛇行して南下していた。いかにも洪水による被害が発生しそうなかたちをしていた。

右端の直角に東へ曲がっている箇所が上の写真にある中津1丁目あたり。  
北上すると旧淀川の手前に集落があって架橋されておりそこから北岸へ渡り、西側の集落を渡って川から離れて北へ延びる道に繋がっている。  
(赤線)

地図は大阪市教育委員会の説明版より。



能勢街道は大坂と能勢地方を結ぶ街道で、炭・薪・栗・柿・木材・銅・銀が能勢から、池田からは酒・植木が運ばれた。大坂からは衣類・干物・魚・塩が池田を経由して運ばれた物流の道である。中国街道と中津1丁目で分岐するので起点は中津とされる。